

# 高岡市福祉・保健施設個別施設計画

令和3年3月

高岡市

## 1 本市の公共施設マネジメントの取組み

本市では、これまで人口の増加や住民ニーズなどに応じて公共施設を整備してきましたが、現在、これらの施設の老朽化が進行しています。今後、人口減少や少子高齢化が進行し、厳しい財政運営を強いられることが見込まれる中、近い将来、老朽化した施設に対する多額の改修・更新費用が必要となることを見込まれます。

このため、本市では、公共施設の総合的かつ計画的な管理を進めるため、2016年3月に「高岡市公共施設等総合管理計画（以下「管理計画」という。）」を策定し、公共施設マネジメントの基本方針を「施設総量の適正化」「長寿命化の推進」「施設の有効活用」と決めました。

さらに、2018年3月には、公共施設マネジメントを強力に推進していくため、個々の施設の集約化、複合化、譲渡、廃止、コスト削減など、今後の具体的な方向性の指針となる「高岡市公共施設再編計画（以下「再編計画」という。）」を策定し、公共施設の総延床面積を2035年度までに15%削減する目標を達成するため、施設再編に取り組んでいます。

今後も維持していく施設については、管理計画に掲げる基本方針に基づき、耐用年数以上の使用を可能とするよう長寿命化を推進するため、「高岡市福祉・保健施設個別施設計画（以下「個別施設計画」という。）」を策定します。

## 2 計画の位置づけ

個別施設計画は、管理計画の下位に位置づけられる計画です。

## 3 対象施設の概要

分類	施設名	所在地(地番)
高齢者福祉施設	東部老人福祉センター	蓮花寺 578-1
	伏木老人福祉センター	伏木国分一丁目 355-2
	牧野老人福祉センター	上牧野 130-1 外
	西部老人福祉センター	柴野内島 2-1 外
障害者福祉施設・保健施設	きずな子ども発達支援センター	江尻 279 外
	ふれあい福祉センター	博労本町 4-1
	保健センター	本丸町 381-1 外
	福岡健康福祉センター	福岡町大滝 22 外

※個別施設計画で対象とする施設は、2020年3月31日現在で保有する建築物である。

## 4 計画期間

10年間（R3年度～R12年度）

## 5 対象施設の状態等

### (1) 建物状況 (R1 年度)

施設名	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年度 (年度)	築年数 (年)	構造	耐用年数 (年)	資産老朽化比率 (%)	劣化度 (点)	耐震性 (点)
東部老人福祉センター	802.85	H2	29	RC	50	55	16	100
伏木老人福祉センター	667.17	S57	37	RC	50	70	19	100
牧野老人福祉センター	570.00	H13	18	RC	50	36	13	100
西部老人福祉センター	834.73	H19	12	RC	50	24	14	100
きずな子ども発達支援センター	1,987.07	H10	21	RC	47	43	27	100
ふれあい福祉センター	7,428.53	H8	23	SRC	50	49	12	90
保健センター	1,535.85	S60	34	RC	50	68	31	100
福岡健康福祉センター	1,881.80	H13	18	RC	50	34	12	100

資産老朽化比率は、35%～50%程度が平均的な値といわれており、対象施設は、平均で47%であり現時点において平均的な水準といえますが、数年内に50%を超える見込みであり、今後、平均的な水準を上回ることが予想されます。

劣化度は、改修を行った施設や日頃から丁寧な管理、利用が行われている施設は、築年数に関わらず劣化度が低くなります。

耐震性は、耐震化不要の建物を100点、現行の耐震基準に満たない又は耐震診断未実施の建物を0点とし、対象施設は一部を除き耐震化不要となっています。

### (2) 利用状況・収支状況 (R1 年度)

施設名	利用者数 (人)	収入 (千円)	支出 (千円)	収支 (千円)
東部老人福祉センター	13,525	1,330	16,522	▲15,192
伏木老人福祉センター	10,776	852	12,621	▲11,769
牧野老人福祉センター	12,549	1,441	12,565	▲11,124
西部老人福祉センター	12,739	1,468	14,522	▲13,054
きずな子ども発達支援センター	24,652	179,193	284,794	▲105,600
ふれあい福祉センター	201,519	7,781	62,198	▲54,417
保健センター	—	53,722	986,930	▲933,208
福岡健康福祉センター	25,303	0	22,831	▲22,831

## 6 対象施設の今後の方向性

再編計画において、対象施設の今後の方向性を示しており、各施設の判定結果等は次のとおりです。なお、方向性が維持（コスト削減、利用促進を含む）の施設は、今後、長寿命化により維持していくこととします。

### 再編計画（抜粋）

施設名	実施基準 判定結果	スケジュール			摘要
		短期 (2018- 22)	中期 (2023- 27)	長期 (2028- 35)	
東部老人福祉センター	廃止			廃止	
伏木老人福祉センター	廃止			廃止	
牧野老人福祉センター	廃止			廃止	
西部老人福祉センター	維持				他の老人福祉センターの動向も踏まえて廃止を検討。
きずな子ども発達支援センター	コスト削減				
ふれあい福祉センター	一部廃止 (体育館)	一部廃止			障害者スポーツの代替機能の確保に努める。
	機能縮小 (入浴機能)			機能縮小	入浴機能（障害福祉サービスは除く）は段階的に廃止。
保健センター	コスト削減				
福岡健康福祉センター	維持				

## 7 長寿命化の考え方

管理計画において、公共施設マネジメントの基本方針の1つとして「長寿命化の推進」を掲げています。「今後も保有し続ける必要性のある施設については、対症的な「事後保全」から計画的な「予防保全」による維持管理にシフトし、定期的な点検・診断等により、劣化・損傷の程度や原因等を把握・評価し、優先度に応じた修繕を行うことにより、LCCの縮減を図るとともに、安全・安心を確保しながら期待される耐用年数以上の使用に努める」としており、この基本方針に基づき長寿命化を推進します。

対象施設は、計画的な保全に努めてきたことから、一部の不具合を除き、躯体等に関する大きな問題はなく、今後、定期的な点検・修繕等を実施の上、必要があれば個別施設計画を見直すこととし、更なる長寿命化を図ることとします。

## 8 対象施設の対策費用

対象施設における設備の更新や改修等に要する今後 10 年間の対策費用は、0.7 億円です。ただし、実際の対策費用は、工事発注時における詳細な設計や今後の災害等の発生状況、社会情勢の変化を踏まえながら算定します。

ふれあい福祉センターの中央監視装置については、施設内の熱源・空調などの設備の管理、監視、制御に必要であり、既に耐用年数を超え、保守部品の製造も終了しているため更新が必要な状況になっています。施設の管理体制に支障があるため、施設の安全性確保の観点から、中央監視装置を改修することとします。

保健センターの空調設備については、当センターの利用に支障があり利便性確保の観点から、施設とともに耐用年数以上の使用を可能とするため更新することとします。また、昇降機設備についても、同様にセンターの利用に支障が生じることから改修することとします。

### ○用語解説

行	用語	解説
カ行	公共施設マネジメント	公共施設の総合的かつ計画的な管理を行う仕組み
サ行	資産老朽化比率	建物の取得価額に対する減価償却累計額の割合。資産の老朽化度合を表す指標で、35～50%程度が平均的な値といわれており、100 %に近いほど老朽化していることを表す
	事後保全	施設、設備が故障した段階で修繕を行うこと
タ行	耐震性	耐震化不要の建物を 100 点、現行の耐震基準に満たない又は耐震診断未実施の建物を 0 点とし、各棟の床面積で加重平均した値
ヤ行	予防保全	施設、設備を計画的に点検・修繕し、故障を未然に防ぐこと
ラ行	LCC（ライフサイクルコスト）	施設の計画、設計の段階から建築、維持管理、解体に至るまでに必要な費用の総額
	劣化度	施設管理者が行う部位ごとの点検結果(A～D の 4 段階評価)を点数化したもの。点数が大きいほど劣化が進行していることを意味する